

○期 日 令和3年10月27日(水)

○対 象 村田町立村田第二小学校  
第3学年

○目 的

地域社会の現状と実態に基づき、学校教育全体をとおして、郷土愛を育み、新しいふるさと創りを目指す児童の育成を図る。



○講 師

沼辺笑楽寿来 (ぬまべしょうがくじゅく)  
代表 渡辺 安光 氏

○補 助

沼辺笑楽寿来 (ぬまべしょうがくじゅく)  
渡辺せつ子 氏  
高原 幸子 氏  
高橋 一雄 氏  
我妻 廣哉 氏  
鈴木 徹 氏  
吉野 正子 氏  
増田百合子 氏



○児童の声

竹馬でバックしたら、「うまくできているね」といわれてうれしかったです。

昔は、各家庭で必ずニワトリを飼っていたのは、なぜなのかと気になっていたけど、理由を聞いてなるほどと思いました。おじいちゃんの家にも鳥小屋があるのも納得できました。昔は、学校が木造であったことは、知っていたけど、チャイムは、放送ではなく鐘だったのだと分かりました。

日下 来春



今日は昔の遊びについて、いろいろなことを教えてもらいました。昔のお米の値段を量るのはすごいなと思いました。鉄のはかりはとても重かったです。

もっと他の道具について聞いてみたかったですが、昔の生活について知れてよかったです。

奥野 優香

私の知らない昔の道具や、実際のものを見たこともなかったので驚きました。重かったり、軽かったりしていて、お米を量る道具には様々な大きさがあることが分かりました。

櫻井 南那

竹馬はとても楽しいし、今の竹馬より昔の竹馬のほうがやりやすいと、思いました。紐をしっかりつかまないと、転んだりするから、しっかり掴まないとだめということが分かりました。

山家 優人

昔の機械がなかった頃は、手作業で何でもしているのが分かってよかったです。 山崎 志穂

竹馬は、最初は乗れなくて転んでいたけど、乗れた時は、嬉しかったです。また機会があれば遊んでみたいです。 赤間 大愛



### ○教職員の声

沼辺笑楽寿来の方々から、昔の道具や遊びを中心に教えていただきました。子供たちは、昔の生活の様子を知り、今の生活との違いを感じていました。また、昔の遊び体験では、とても楽しく活動することができました。ありがとうございました。 3学年担任 山崎静華

### ○社会福祉協議会担当職員の声

昔の遊びの一つ、缶馬を子供たちに体験してもらうために、1ヵ月以上前から工作に励む人。どうやったら子供たちに分かりやすく伝えられるか、一生懸命文章を考える人。当日、子供たちは初めて見る昔の道具に興味津々の様子で、説明する沼辺笑楽寿来の皆さんの周りにあっという間に集まる場面も見られました。

笑楽寿来の皆さんによる、手作りの缶馬も子供たちは楽しそうに体験していました。「通学路でこの子とはいつも会ってるんだよ。かわいいでしょ」などと子供たちについて嬉しそうに話し、子供だけではなく、大人にとっても元気の源になっています。今後も昔の方の知恵や大切な感覚を伝えていきながら、地域の子供も大人もお互いに見守り支え合い、地域づくりの一つとしてこの活動が継続していけたらと思っています。

村田町社会福祉協議会

沼辺笑楽寿来担当 加藤 千穂

### ○村田町社会教育指導員から

じゃがいもや稲の栽培、七夕飾り、柏餅作り、団子さし等、沼辺笑楽寿来の皆さんには、年間を通して学校教育の充実のためにご尽力いただいています。

今回は、昔の学校や暮らし、遊びをテーマにしたものでした。升や竿秤を使って米を量るなど、実演を交えてお話ししていました。一合から一斗までの様々な大きさの升は私も初めて見ました。児童は、米の摺り切りを体験しましたが、何度もやりたいようでした。

昔使っていた道具を持参していましたが、壊れたところをこの日のために修理するなど維持管理は大変なようです。子供たちのために出来る事はしっかりやるという姿に心打たれます。

今回も、子供たちと沼辺笑楽寿来の皆さんの素敵な笑顔がたくさん見せていただきました。

村田町教育委員会生涯学習課 社会教育指導員 佐藤 徳雄



### ○教育事務所から

沼辺笑楽寿来の渡辺代表は、児童が真剣に学びに向き合う姿を見ながらこう話してくれました。「私たちも子供たちから元気もらっていますから。いろいろ大変な世の中だけれど、お互いに笑顔で楽しく過ごせるといいね。」「会員らも年を重ねたが、子供たちのためだと思うと張り切っちゃうよね。」村田二小は、沼辺笑楽寿来の皆さんに、年間をとおして活動支援をいただいています。その功績が認められ、文部科学大臣表彰や宮城県功績表彰を受賞されました。

(文責：大河原教育事務所生涯学習担当)